

令和3年度及び令和4年度 宮城県 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況(検査促進枠)

通し 番号	事業名	事業 始期	事業 終期	事業概要	総事業費（実績額） （単位：千円）		計画 （件数等）	実績	事業成果・効果
						うち 交付金			
1	ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業(検査費分)	R3.12	R4.12	ワクチン接種歴や陰性の検査結果を確認する民間の取組のために必要な検査を、無料で実施するための支援。	53,954	53,954	国の推計ツールに基づき、1日あたりの県内検査回数を7,400件、各検査所における1日あたりの検査数を45件とそれぞれ想定し、実施(感染拡大傾向時における一般検査事業との合計数)	・R3.12.23～R4.3.31： 2,988件 ・R4.4.1～R4.8.31： 6,290件 ・R4.12.24～R5.1.12： 929件 検査実施件数合計： 10,207件	帰省や旅行、イベント参加等の社会経済活動と感染拡大防止の両立を図るため、人流が増加する時期を中心に受検が必要な方への検査を実施した。
2	感染拡大傾向時の一般検査事業(検査費分)	R4.1	R4.12	感染不安を感じる無症状の住民に対して、特措法第24条第9項等に基づき検査受験を要請し、要請に応じた住民が受検する検査を無料で実施するための支援。	2,683,212	2,146,569	無料検査の実施拠点として、医療機関、薬局及び民間検査機関を実施事業者とし、感染不安を感じる無症状の県民に対して、十分な受検機会を提供	令和3年度及び令和4年度における検査実績:約45万件	感染不安を感じる無症状の県民に対して、適切な受検機会を提供し、県民の安全安心に寄与した。
3	検査体制整備支援事業費(ワクチン・検査パッケージ分) うち令和4年度県予算計上分	R3.12	R4.12	事業実施に関する体制整備への支援。	23,347	23,347	1日あたりの県内総検査数7,400件を1箇所あたりの検査数で除した164箇所の整備を支援 (県内全圏域に最低1箇所の整備を目標、感染拡大傾向時における一般検査事業との合計数)	163検査所の登録を行い、うち体制整備費用の交付申請があった34箇所分を支援(圏域別では各圏域に最低2箇所の整備)	検査需要に応えるために十分な検査所を確保した。また、県内全圏域に検査所を整備し、社会経済活動を行う前に検査受検が可能な体制を整備した。
4	検査体制整備支援事業費(一般検査分) うち令和4年度県予算計上分	R3.12	R4.12	事業実施に関する体制整備への支援。	17,858	17,858	・PCR検査等と抗原定性検査のそれぞれについて、県内の7圏域でそれぞれ最低1か所以上の整備 ・県内における検体採取拠点を164箇所程度整備	ワクチン検査パッケージ等定着促進事業と合わせて、県内167箇所の拠点を整備(7圏域で最低1箇所以上)	無料検査事業を実施するにあたり、十分な検査拠点数を確保することができ、円滑な事業実施につながった。